

与党の責任を 自覚する年



衆議院議員
あべ俊子

新しい年の幕が開きました。栃木県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は9ヶ月間にわたり外務大臣政務官を拝命し、内閣の一員としてその任を務めさせて頂けたとても学びの多い年でした。地元活動を行いつつの日程調整は想像以上に厳しいものでしたが、今後立法府において役割を果たすにあたっても、この9ヶ月間の経験はとても有意義で価値あるものであったと感謝しています。

現在は、おもに議院運営委員会（議事進行係）、厚生労働委員会（理事）、国会対策委員会（副委員長）などの役割を担わせていただいている。野党時代に3年間経験した国対ですが、今回は与党として次世代への責任を常に念頭に日々務めています。

これから超高齢社会を支えるためには、私が政治の道を志した原点である「安心できる社会保障制度の確立」はますます急を要するものとなっています。同時に、看護職の皆さんお一人お一人が働きやすく、やりがいをもって看護できることを心から願い、その実現に向けて引き続き頑張ってまいる所存です。栃木県看護連盟の皆様、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

目に見える 形の政策を！



参議院議員
高階恵美子

栃木県看護連盟の皆様へ、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

第二次安倍政権の誕生から12ヶ月間、政策の重点は財政再建と経済活性化、そして新たな成長戦略の発信へ注がれて参りました。いわば我が国が将来、真に健やかな成熟社会へ飛躍していくための基盤整備が行われたわけです。これからは、国民のいのちと暮らしの安全・安心を安定的に保証するための社会保障制度体系全般にかかる諸々の大改革を進める段階に入ります。

社会保障を実現する最大規模のプロ集団として、いよいよ看護職が現場の声を政策へ届ける時がやって参ります。私こと、高階恵美子も看護職の一人として、これまで着々と進めてきた地道な努力の積み重ねを、今度は国会の場で政策としてひとつでも多く目に見える形で実現させていくべく、微力を投じて参ります。

皆様にとりまして、幸多く伸びやかな繁栄の年となりますことを心より祈念いたします。

現場と連携した 国政を目指したい



参議院議員
石田昌宏

栃木県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとりすばらしき一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年7月に行われました参議院選挙におきましては、皆様からの熱い思いに支えられ、初当選を果たすことができました。重い役割を自覚し、頑張って参ります。

今年は、通常国会において引き続き社会保障制度改革の議論が進められ、医療制度、介護保険制度等の具体的な内容の検討に入って参ります。現場の意見を盛り込んだ法案整備に向けて力を尽くしてゆきます。

私は昨年10月に財政金融委員会委員を拝命し、財政面からも日本の課題に取り組むことになりましたが、持続可能な社会保障を行うためには、課題が山積しています。

私たち看護職がそれぞれの力を発揮“いい看護をした”と実感できるよう、日々現場で懸命に看護に取り組んでおられる皆様の声を、国政に反映してゆきたいと思います。

この大きな転換期に、皆様とともに手を携え歩んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願ひ申し上げます。